



丸岡城天守



大善寺金銅孔雀文啓

坂井市の文化財



観音院木造如意輪観音菩薩坐像



目次

文化財の種類	P1,2
有形文化財マップ	P3,4
有形文化財 解説	P5～12
有形民俗文化財・史跡・名勝マップ	P13,14
有形民俗文化財・史跡・名勝 解説	P15～18
天然記念物(樹木)マップ・解説	P19～20
無形民俗文化財マップ・解説	P21,22

文化財の種類

◆有形文化財

建造物、絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書などで歴史上又は芸術上価値の高いもの、考古資料やその他の学術上価値の高い歴史資料を指します。

有形文化財は建物などの「建造物」と、それ以外の「美術工芸品」に大別します。

◆無形文化財

演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で歴史上又は芸術上価値の高いものを無形文化財と呼びます。個人もしくは団体によって行われる「わざ」を指定します。

◆民俗文化財

衣食住・生業・信仰・年中行事などに関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術やこれらに用いられる衣服、器具、家屋などで、生活の推移の理解のため欠くことのできないものを民俗文化財と呼びます。

民俗文化財は、習慣・芸能・技術などを指定する「無形民俗文化財」と、それに用いられる衣服・器具・家屋等を指定する「有形民俗文化財」に大別します。

◆記念物

史跡(貝塚・古墳・都城跡・城跡・旧宅など)で歴史上または学術上価値の高いものや、庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳などの名勝地で芸術上または鑑賞上価値が高いもの、動植物、地質、鉱物で学術上価値が高いものを記念物として指定します。

◆文化的景観

地域における人々の生活や生業、地域の風土により形成された景観地で、人々の生活や生業を理解する上で欠く事のできないものを指定します。

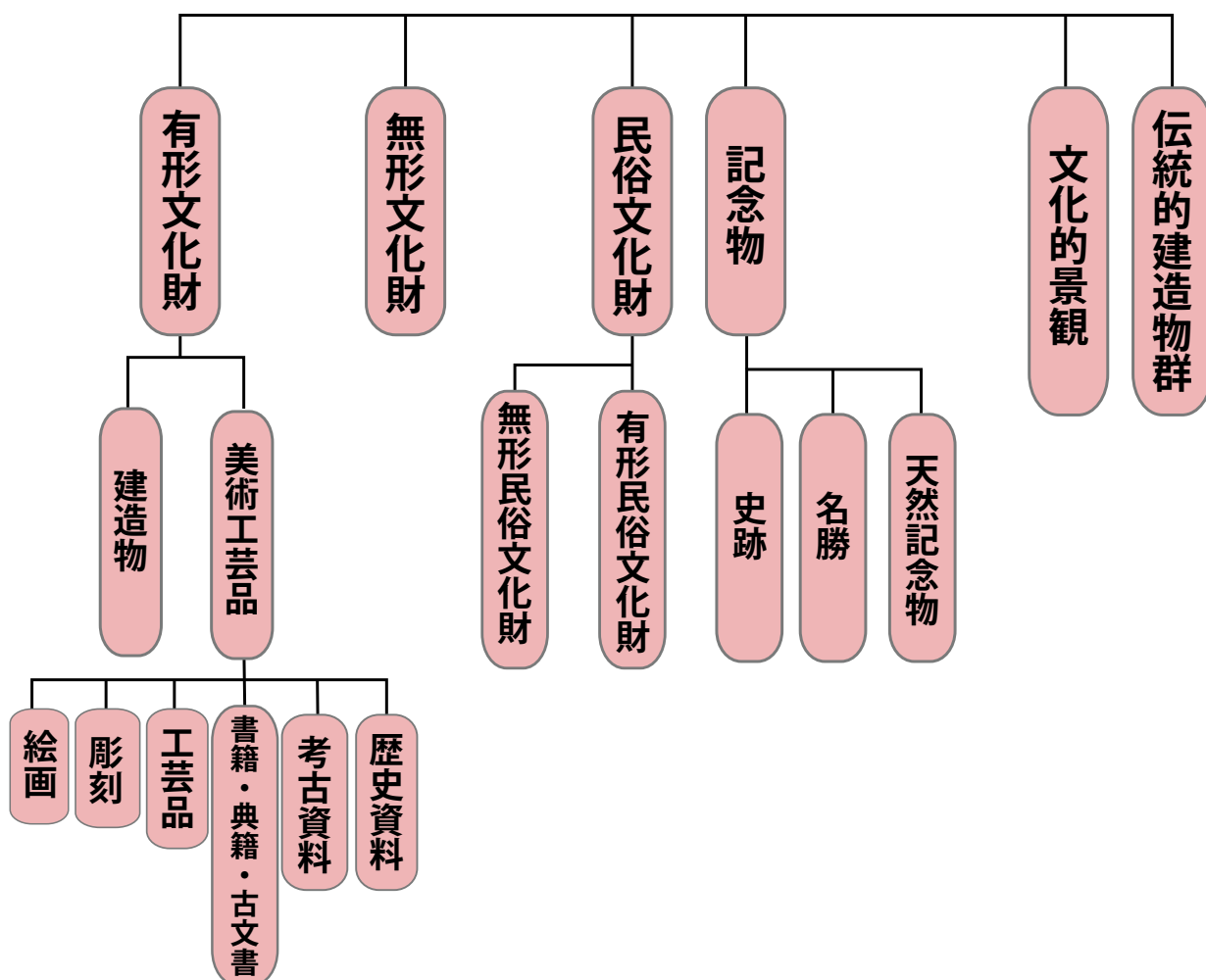
◆伝統的建物群

周囲の環境と一体となっている伝統的な建造物群で価値の高いものを指定します。

指定の区分

文化財の指定には、国が指定するもの(有形文化財は重要文化財、その他は重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財、史跡、名勝・天然記念物)、県が指定するもの(県指定文化財)、市が指定するもの(市指定文化財)、国が登録するもの(国登録文化財)、市が登録するもの(市登録文化財)があります。また、国が指定している文化財の中で特に重要なものを国宝、特別史跡、特別名勝、特別天然記念物に指定します。

文化財の種類



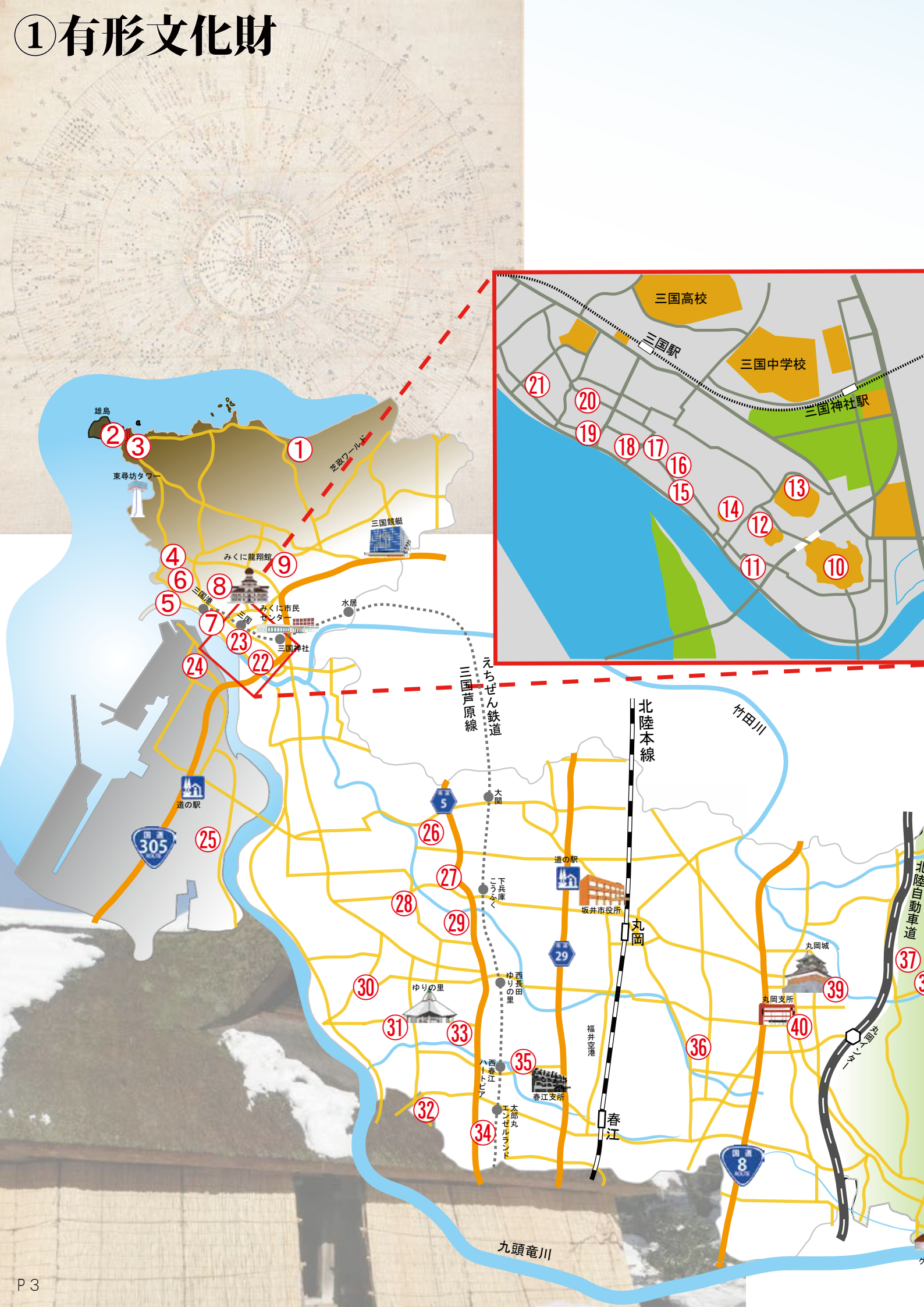
坂井市内の指定・登録文化財数

平成30年2月現在

区分	国		県指定	市		合計
	指定	登録		指定	登録	
国宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財		10	18	36	3	67
有形民俗文化財				1		1
無形民俗文化財			6	6		12
史跡	2		3	12	3	20
名勝・天然記念物	3	1	3	6		13
合計	15	11	30	61	6	123

※名勝・天然記念物の件数は、天然記念物（動物）を除いた件数です

①有形文化財



番号	文化財名(複数の場合は保管場所及び主な文化財名)	所在地	解説
①	御嶽神社本殿	三国町 浜地 御嶽神社	P5
②	大湊神社(本殿・拝殿・木造伊邪奈岐命ほか)	三国町 安島/雄島 大湊神社	P5
③	西野家住宅	三国町 安島	P5
④	米ヶ脇西光寺四脚門・鐘楼	三国町 米ヶ脇 西光寺	P5
⑤	三国港(旧阪井港)突堤	三国町 宿	P5
⑥	春日神社木造神像	三国町 宿 春日神社	P5
⑦	眼鏡橋	三国町 宿	P5
⑧	瀧谷寺(金銅宝相華文磬・鎮守堂・天之図ほか)	三国町 滝谷 瀧谷寺	P6
⑨	みくに龍翔館(袈裟襷文銅鐸・寄安道場関連資料)	三国町 緑ヶ丘 みくに龍翔館	P7
⑩	三國神社(隨身門・木立神社奉納太刀銘守次ほか)	三国町 山王 三國神社	P7
⑪	中元区山車屋台	三国町 山王	P8
⑫	妙海寺石造千手観音菩薩立像	三国町 山王 妙海寺	P8
⑬	木造新井白石胸像	三国町 山王 三国南小学校	P8
⑭	絹本著色地藏菩薩像	三国町 南本町 性海寺	P8
⑮	下西区山車屋台	三国町 南本町	P8
⑯	松ヶ下区山車屋台	三国町 南本町	P8
⑰	旧森田銀行本店	三国町 南本町	P8
⑱	旧岸名家住宅主屋	三国町 北本町	P8
⑲	坂井家住宅	三国町 北本町	P8
⑳	金鳳寺木造聖観音菩薩立像	三国町 北本町 金鳳寺	P8
㉑	魚志楼	三国町 神明	P9
㉒	紙本淡彩神農図(山田道安筆、策彦賛)	三国町 南本町	P9
㉓	森田家文書	三国町 山王	P9
㉔	新保春日神社(本殿・鳥居・境内社巖島神社石祠)	三国町 新保 春日神社	P9
㉕	称名寺(絹本著色聖徳太子絵伝・木造聖徳太子像)	三国町 黒目 称名寺	P9
㉖	木造阿弥陀如来坐像	坂井町 東荒井 春日神社	P10
㉗	大善寺(金銅孔雀文磬・木造黒漆塗厨子)	坂井町 下兵庫 大善寺	P10
㉘	清永白山神社石造九重塔	坂井町 清永	P10
㉙	板碑	春江町 井向 白山神社	P10
㉚	石造六重層塔(下小森)	春江町 下小森 信社王神社	P10
㉛	石塚神社岩座	春江町 石塚 石塚神社	P10
㉜	高江住吉神社板碑	春江町 高江 住吉神社	P10
㉝	中庄神明神社石造多層塔	春江町 中庄 神明神社	P10
㉞	石造六重層塔(針原)	春江町 針原 八幡神社	P10
㉟	観音院(木造如意輪観音菩薩坐像・観音院の門)	春江町 本堂 観音院	P11
㊱	称念寺(絹本著色他阿上人真教像・朝倉系図ほか)	丸岡町 長崎 称念寺	P11
㊲	赤坂白山神社板碑	丸岡町 赤坂 白山神社	P12
㊳	豊原三千坊史料館(木造薬師如来坐像・木造阿弥陀如来坐像)	丸岡町 田屋 豊原三千坊史料館	P12
㊴	丸岡城(天守・牛ヶ島石棺)	丸岡町 霞町	P12
㊵	絹本著色白山参詣曼荼羅図	丸岡町 石城戸町 國神社	P12
㊶	豊原地蔵菩薩立像	丸岡町 豊原	P12
㊷	上金屋八幡神社石造多層塔	丸岡町 上金屋 八幡神社	P12
㊸	坪川家住宅	丸岡町 上竹田	P12



おんたけじんじゃほんでん
①御嶽神社本殿

指定：市指定 建造物
所在：三国町浜地 御嶽神社

覆屋内にある、桁行 1.52m、
梁間 1.34m、流造の本殿で
す。室町時代の建築と考えら
れています。



にし の けしゅうたく
③西野家住宅

指定：市指定 建造物
所在：三国町安島

明治時代の三国の漁家で、
医学者石森国臣の生家です。
保存状態が良好な漁村民家の
好例として、主屋と土蔵を一
括で指定しています。



おおみなとじんじゃしよゆう し ていぶん か ざい
②大湊神社所有の指定文化財

文化財名(指定)

- 1, 大湊神社本殿・拝殿 (県指定 建造物)
- 2, 木造神像伊邪奈岐命 (県指定 彫刻)
- 3, 大湊神社木造女神坐像 (市指定 彫刻)
- 4, 大湊神社木造神像 (市指定 彫刻)
- 5, 大湊神社獅子頭 (市指定 彫刻)

所在：三国町安島・雄島

1, 福井藩 2代藩主松平忠直が願主となり、元和 7年 (1621) に造立しました。本殿と拝殿をそれぞれ指定しています。

2, 一木造り、檜材の神像で、平安時代後期の作です。彩色がわずかに残っています。

3, 寄木造り、桧材の女神像で、像高は 58.2cm あります。作風から鎌倉時代の作と考えられます。

4, 男神像 2 体、女神像 2 体の計 4 体の像です。いずれも桧材で、大きな目を特徴とします。平安時代末期に同一の作者が作ったと考えられます。

5, 幅約 35cm、奥行約 35cm、高さ約 30cm の高麗狗型の獅子頭で、彩色されています。詳しい時期は不明ですが、作風から室町時代の作の可能性がります。



3, 木造女神坐像



4, 木造神像



1, 本殿・拝殿



2, 木造伊邪奈岐命



5, 獅子頭

こめ が わきさいこうじ しきやくもん しやうろう
④米ヶ脇西光寺四脚門・鐘楼

指定：市指定 建造物
所在：三国町米ヶ脇 西光寺

四脚門、鐘楼ともに江戸時代前期に作られたと考えられています。ともに一辺約 3.5m の木造建造物で、一括で指定しています。



みくにこう きゅうさかいこう とつてい
⑤三国港(旧阪井港)突堤
附測標

指定：国重要文化財 建造物
所在：三国町宿

オランダ人技師エッセル (G.A.Escher) の設計、デ・レイケ (de Rijke) の工事指導による防波堤と導流堤の役割を兼ねた突堤で、明治 15年 (1882) に完成しました。



かすが じんじゃもくぞうしんぞう
⑥春日神社木造神像

指定：市指定 彫刻
所在：三国町宿 春日神社

男神像 2 体、女神像 1 体、計 3 体の神像です。いずれも寄木造り、桧材で、鎌倉時代に同一の作者が作ったと考えられます。



めがねぼし
⑦眼鏡橋

指定：国登録 建造物
所在：三国町宿

えちぜん鉄道三国港駅付近にある、大正 2 年 (1913) に作られたれんが造りの橋で、「ねじりまんぼ」という珍しい技法を使っています。



たきだん じしよゆう していぶん かざい
⑧瀧谷寺所有の指定文化財

文化財名（指定）

- 1, 瀧谷寺 本堂・観音堂・方丈および庫裏・開山堂・山門・鎮守堂 附厨子（観音堂附）・覆屋・拝殿・鳥居（鎮守堂附）・総門・宝蔵



1-1, 観音堂

（国重要文化財 建造物）

- 2, 瀧谷寺新殿（客殿）附「新殿建築出納明細簿」

（県指定 建造物）

- 3, 絹本着色地藏菩薩像（国重要文化財 絵画）

- 4, 金銅宝相華文磬（国宝 工芸品）

- 5, 天之図（星図）（国重要文化財 歴史資料）

- 6, 瀧谷寺文書・聖教 2371 点（附 倭鈍箱天和三年・享保五年）（県指定 古文書）

所在：三国町滝谷

1, 真言宗の寺院で、近世には福井藩の庇護を受けていました。伽藍は中世から近世に整えられました。本堂、山門、観音堂は江戸時代中期に建てられ、福井藩が造営した近隣の建造物と共通点が多くみられます。一方鎮守堂は、正面約 1.3m、側面約 1.4m の三間社流造、柿葺正面千鳥破風付の本殿で、ベンガラで全体が赤く塗られています。全体的に古材の保存状態が良く、その様式及び手法から室町時代の建造物と考えられます。また、開山堂は、地元の豪族堀江氏が、元龜 3 年（1572）に建立した、桁行約 3.3m、梁間約 2.5m、高さ約 2.4m、笏谷石製 切妻造のお堂で、内壁に 13 の石仏が彫刻されています。この時期の石堂は全国的にも珍しいです。

2, 大正 3 年に建築された、近代和風建築です。伝統的な和風住宅の要素を持ちつつも、赤土壁など自由な意匠や造形が見られます。

3, 右手に錫杖、左手に宝珠を持ち、住处である伽羅陀山の山水を背景に半跏する地藏菩薩の画像で、縦 99cm、横 39cm あります。金箔で文様を表す技法である金截金を多用した着衣表現が美しい作品で、鎌倉時代末期の作品です。

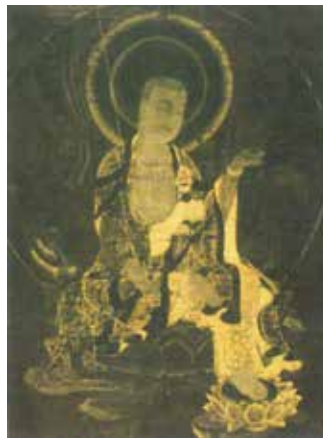
4, 磬は叩いて音を出す仏具です。本作は平安時代後期の作で、幅 23.9cm、高さ 9.5cm あり、中央に蓮華の撞座を据え、周囲に宝相華文と魚々子を施しています。優美な形や繊細な文様が特徴で、日本の磬を代表する一作です。

5, 室町時代に越前の大朝倉孝景から寄進された現存する日本最古の天文星図で縦 145.1cm、横 97.4cm あります。上段には星座・星を詠んだ漢詩「歩天歌」が書かれており、下段には星宿図が描かれています。

6, 寺に伝存する大名や本寺とのやり取り、法会・木等に関する中世文書 154 点と近世文書 1518 点、弟子に秘法を伝授した証拠として授与した印信を主体とした聖教 699 点の計 2371 点が指定を受けています。



1-2, 鎮守堂



3, 絹本着色地藏菩薩像（部分）
 「古刹 瀧谷寺」より転載



2, 新殿（客殿）



4 金銅宝相華文磬
 「古刹 瀧谷寺」より転載



5, 天之図（星図）
 「古刹 瀧谷寺」より転載



6, 文書

※ P15、③にも解説あり

⑨ ^{りゅうしょうかんしよゆう} ^{していぶん かざい} **みくに龍翔館所有の指定文化財**

文化財名（指定）

- 1, ^{け さだすきもんどうたく} **袈裟襷文銅鐸**（県指定 考古資料）
- 2, ^{よりやすどうじょうかんれんしりょう} **寄安道場関連資料**（市指定 歴史資料）

所在：三国町緑ヶ丘

1, 大正 13 年（1924）に三国町米ヶ脇で発見された高さ約 42cm の銅鐸です。弥生時代中期のもので、格子目状の文様（袈裟襷文）で 4 つに区画されています。一部欠損や文様の磨滅があるものの、全体に残りが良い資料のため、指定されています。

2, 春江町寄安の道場に伝わる浄土真宗関係の資料で、親鸞や蓮如の筆と伝えられる名号も含まれています。福井県は、全国有数の真宗信仰地と言われており、真宗の歴史や教学史上の歴史的価値を示す重要な資料です。



1, 袈裟襷文銅鐸



2, 寄安道場関連資料

⑩ ^{みくにじんじやしよゆう} ^{していぶん かざい} **三國神社所有の指定文化財**

文化財名（指定）

- 1, ^{みくにじんじやずいしんもん} **三國神社隨身門** 附「^{げんじ} ^{ざっ}元治二年正月雜記」^き ^{けい おう}「慶応元年五月御門普請中雜記」^{けい おう} ^{ざっ き}「慶応四年雜記」（県指定 建造物）
- 2, ^{こだちじんじやほうのうた} ^{ちめいもりつぐ} **木立神社奉納太刀銘守次**（県指定 工芸品）
- 3, ^{みくにじんじやもくぞうしん め ぞう} **三國神社木造神馬像**（市指定 彫刻）
- 4, ^{みくにじんじやはいでんこうはい} ^{ぐんえんぞう} **三國神社拝殿向拝の群猿像**（市指定 彫刻）
- 5, ^{こだちじんじやりゅうがんもん} **木立神社立願文**（県指定 歴史資料）

所在：三国町山王

1, 参道の正面にある、正面約 8.2m、側面約 4.6m、棟高約 12.4m の楼門です。明治 3 年（1870）に建てられました。

2, 明治 7 年（1874）、元福井藩主松平慶永が木立神社立願に際し奉納した、長さ約 54cm の小太刀です。南北朝期の作と考えられ、鞘や鐔など随所に三葉葵が施されています。

3, 神馬堂に納められている、全長約 1.8m の木馬像です。福井藩の御用職人、島雪斎が明治元年（1868）に作りました。

4, 拝殿向拝の梁の上に彫られた 18 匹の猿の彫刻です。江戸時代後期に三国工芸の基礎を築いた志摩乗時の作です。

5, 元福井藩主松平慶永が、明治 7 年（1874）に寿像と太刀を奉納した際、自ら神に願をかけるために書いた文章です。



1, 隨身門



2, 木立神社奉納太刀銘守次



3, 木造神馬像



4, 拝殿向拝の群猿像



5, 木立神社立願文

なかもとく やまやたい
⑪中元区山車屋台

指定：市指定 工芸品
所在：三国町山王

三国祭に使われる山車です。幕末の三国を代表する塗師、井田一洞斎の作品で、螺鈿を散りばめた漆塗が特徴です。



みょうかいじ せきぞうせんじゆ
⑫妙海寺石造千手
かんのん ぼさつりゆうぞう
観音菩薩立像

指定：市指定 彫刻
所在：三国町山王 妙海寺

凝灰岩製で作られた、像高137cmの石像です。刻銘から天正16年(1588)に宗音泉蔵坊が願主となり作ったことが分かります。



もくぞうあら い ほうせききょうぞう
⑬木造新井白石胸像

指定：市指定 彫刻
所在：三国町山王
三国南小学校

寄木造り、像高50.0cm、褐色漆塗りの胸像です。三国で育った明治時代を代表する彫刻師山田鬼斎の作品です。



けんぼんちやくしよくじ ぞう ぼさつぞう
⑭絹本著色地藏菩薩像

指定：国重要文化財 絵画
所蔵：三国町南本町 性海寺
六道の救済者として信仰された地藏菩薩

を、雲に乗る来迎形式に描いた縦90cm、横40cmの画像です。鎌倉時代後期の作で、美しい色彩と截金を用いた端正な描写がされています。



※ P13、④ 「極楽-北陸の浄土美術-」より転載にも解説あり

しもにしく やまやたい
⑮下西区山車屋台

指定：市指定 工芸品
所在：三国町南本町

三国祭に使われる山車です。江戸時代後期に三国彫りの彫刻師一派である志摩派の彫刻師が彫った作品です。



まつがしたく やまやたい
⑯松ヶ下区山車屋台

指定：市指定 工芸品
所在：三国町南本町

三国祭に使われる山車です。上段の高欄は紫檀で、彫刻は幕末の三国彫りの彫刻師、志摩鴻斎の作品です。



きゅうもり たぎんこうほんてん
⑰旧森田銀行本店

指定：国登録 建造物
所在：三国町南本町

森田銀行の新店として、大正8年(1919)に造られた、鉄筋コンクリート2階建ての建築です。



きゅうきしな けじゆうたくしゅおく
⑱旧岸名家住宅主屋

指定：国登録 建造物
所在：三国町北本町

幕末の木造建築で、切妻造り妻入の前方に、平入の表屋(2階家)を付けた「かぐら建て」と呼ばれる伝統的な技法が使われています。



さかい けじゆうたく
⑲坂井家住宅

指定：国登録 建造物
所在：三国町北本町

明治初期に建てられた「かぐら建て」の町家です。主屋・土蔵一式が古い形をとどめており、側面から「かぐら建て」の形がよく分かります。



きんぼうじ もくぞうしょうかんのん ぼさつ
⑳金鳳寺木造聖観音菩薩
りゆうぞう
立像

指定：市指定 彫刻
所在：三国町北本町 金鳳寺

寄木造り、桧材、像高106.3cmある仏像です。鎌倉時代の作と考えられ、現在は素地に近い状態ですが、元は漆箔でした。



⑳^{うおしろう}魚志楼

指定：国登録 建造物
所在：三国町神明

明治初期の建物で、料亭として使われています。三国の町屋を代表する建て方である「かぐら建て」の主屋と、西蔵・東蔵・奥屋敷があります。



㉑^{しほんたんさいしんのうず}紙本淡彩神農図
(^{やまだ どうあんひつ}山田道安筆、策彦賛)

指定：県指定 絵画
所在：三国町南本町

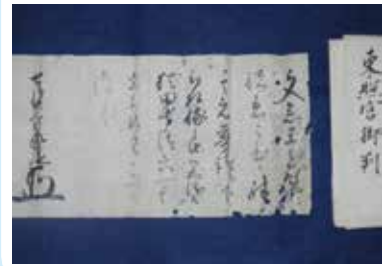
神農は古代中国の伝説上の皇帝で、農業や医学などの祖神として信仰を集めました。本図は、縦111cm、横47cmの室町時代後期の武人画家山田道安の筆で、禅僧策彦周良の賛があります。



㉒^{もりた けもんじょ}森田家文書

指定：市指定 古文書
所在：三国町山王

三国湊の豪商であった、森田家に残る文書です。信長・秀吉・家康など、当時の権力者の文書もあり、森田家の当時の隆盛が伺えます。



㉓^{しん ぼかす が じん じゃ し ょ う}新保春日神社所有の指定文化財

文化財名（指定）

1, 新保春日神社本殿

(県指定 建造物)

2, 新保春日神社 境内社 巖島神社 石祠

附銅像 三面八臂弁財天坐像 (市指定 建造物)

3, 新保春日神社鳥居

(市指定 建造物)

所在：三国町新保

1, 正面3間、側面2間、三間社入母屋造、銅板葺の建物で、当初は彩色が施されていました。墨書や様式から江戸時代前期(貞享年間)の建物と考えられます。

2, 境内南側、池の中央にある高さ約2.2mの花崗岩製の石祠です。背面銘より元禄4年(1691)に上林武兵衛延雪が銅像三面八臂弁財天像と共に奉納したとわかります。

3, 全長約4.4m、花崗岩製の鳥居です。福井地震の際に倒壊したと伝えられていますが、柱銘より元禄8年(1695)に上林武兵衛延雪が願主になったことが分かります。



1, 本殿

福井県教育委員会提供



2, 境内社巖島神社 石祠



3, 鳥居

㉔^{しやうみやう じ しよ ゆう}称名寺所有の指定文化財

文化財名（指定）

1, 絹本著色聖徳太子絵伝

(県指定 絵画)

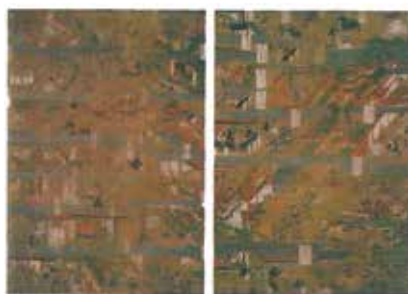
2, 称名寺木造聖徳太子像

(市指定 彫刻)

所在：三国町黒目

1, 聖徳太子の一代記を6幅に描いたもので、初期真宗教団において製作されたものです。時代は南北朝から室町初期と考えられ、中世の完存する聖徳太子絵伝としては、県内唯一のものです。

2, 寄木造り、桧材、像高69.0cm、玉眼の仏像です。上半身が裸身の童形をした聖徳太子像で、製作年代は太子信仰が迎合された鎌倉～南北朝時代と考えられています。



1, 絹本著色聖徳太子絵伝

「極楽 - 北陸の浄土美術 -」より転載



2, 称名寺木造聖徳太子像

もくぞうあみだにょらいぎぞう
②6 木造阿弥陀如来坐像

指定：県指定 彫刻
所在：坂井町東荒井
春日神社

寄木造り、桧材、像高は85.2cmあります。鎌倉時代の作と考えられ、全体に黒漆が施された黒い像のため、「黒仏」とも呼ばれています。



だいぜんじしじょうししていぶんかざい
②7 大善寺所有の指定文化財

文化財名（指定）
1. 金銅孔雀文磬
（国重要文化財 工芸品）

2. 木造黒漆塗厨子
（県指定 工芸品）

所在：坂井町下兵庫

1, 鑄銅鍍金製の磬で、表面中央の撞座左右には、魚々子地に羽を広げ向かい合う孔雀を配しています。裏面の銘文から、鎌倉時代の建長3年(1251)に製作されたことが知れる貴重な作例です。

2, 本尊十一面観音を安置する厨子で、正面扉内面に観音浄土の補陀落山、側面扉に四天王、奥壁には蓮池図を極彩色で描いています。鎌倉時代14世紀に、南都(奈良)で製作されたと考えられます。



1. 金銅孔雀文磬



2. 木造黒漆塗厨子
福井県教育委員会提供

きよながはくさんじんじやせきぞうきゅうじゅうのとう
②8 清永白山神社石造九重塔

指定：市指定 建造物
所在：坂井町清永 白山神社

高さ3.3mの塔です。刻銘から、天文18年(1549)に、藤泰兵衛が願主となり作ったことが分かっています。



いたび
②9 板碑

指定：県指定 歴史資料
所在：春江町井向 白山神社

板碑は中世の供養塔です。本碑は、刻銘から文永11年(1274)に作られたことが分かっています。また、碑には「阿弥陀三尊」を表す梵字が刻まれています。



せきぞうろくじゅうそうとう しもこもり
③0 石造六重層塔（下小森）

指定：市指定 建造物
所在：春江町下小森
信社王神社

凝灰岩で作られた、高さ2.24mの塔です。塔の特徴から、鎌倉時代に建てられたと考えられています。



いしづかじんじやいわくら
③1 石塚神社岩座

指定：市登録 歴史資料
所在：春江町石塚 石塚神社

礫質砂岩の巨石です。この岩座はかつて神道考古学者大場磐雄氏によって古代岩座と紹介されました。



たかえすみよしじんじやいたび
③2 高江住吉神社板碑

指定：市指定 歴史資料
所在：春江町高江 住吉神社

住吉神社の境内にある笏谷石製の板碑2基です。刻銘から、ともに中世のものとなり、大日如来を表す梵字が刻まれています。



なかのしょうしんめいじんじやせきぞう た そうとう
③3 中庄神明神社石造多層塔

指定：市登録 建造物
所在：春江町中庄 神明神社

高さ1.18mの笏谷石製の塔の残欠で、磯部川の工事の際に出土しました。塔の形から、鎌倉時代に作られたもの一部と考えられています。



せきぞうろくじゅうそうとう はりばら
③4 石造六重層塔（針原）

指定：市指定 建造物
所在：春江町針原 八幡神社

凝灰岩で作られた、高さ1.86mの塔です。塔の特徴から、鎌倉時代に建てられたと考えられています。



かんのんいんしよゆう していぶんかざい
35 観音院所有の指定文化財

文化財名（指定）

1, 木造如意輪観音菩薩坐像
もくぞうによいりんかんのんぼさつざぞう

（県指定 彫刻）

2, 観音院の門（市指定 建造物）
かんのんいんもん

所在：春江町本堂

1, 寄木造り、桧材、像高は 162.1cm あり如意輪観音菩薩像ではまれにみる大きさの仏像です。彫眼で、行基仏との伝承もあります。近年の調査より、鎌倉時代の作と分かっています。

2, 唐破風の屋根を持つ一間一戸の平唐門で、高さ約 3.2m、柱間 2.7m あります。全面に朱漆が塗られています。この門は地域の伝承や、絵図より福井城三の丸にあった東照宮唐門の可能性が高いと考えられています。



1, 木造如意輪観音菩薩坐像



2, 観音院の門

しよねんじしよゆう していぶんかざい
36 称念寺所有の指定文化財

文化財名（指定）

1, 絹本着色他阿上人真教像（国重要文化財 絵画）
けんぼんちやくしよくた あしやうにんしんきやうぞう

2, 称念寺木造阿弥陀三尊立像（市指定 彫刻）
しよねんじもくぞうあみださんぞんりゆうぞう

3, 卷子本浄土三部経（県指定 書籍・典籍・古文書）
かんとすほんじやうとさんぶきやう

4, 朝倉系図（市指定 古文書）
あさくらけいず

5, 紙本墨書称念寺縁起（市指定 古文書）
しほんぼくしよしよねんじえんぎ

6, 称念寺所蔵勅書・繪旨（市指定 古文書）
しよねんじしよぞうちやくしよりんじ

7, 称念寺石造多層塔（市指定 建造物）
しよねんじせきぞうたそとう

所在：丸岡町長崎

1, 踊り念仏で有名な時宗の二祖、他阿真教の肖像です。鎌倉時代の作品で、現存する最古の上人像です。

2, 寄木造りの像で、鎌倉時代の作と考えられます。阿弥陀如来、聖観音菩薩、勢至菩薩から成る三尊仏です。

3, 称念寺に伝わる鎌倉時代の経典です。「仏説無量寿経巻上下」「仏説観無量寿経」「仏説阿弥陀経」の 4 巻からなります。

4, 越前国の戦国大名、朝倉家の系図が書かれた冊子本です。慶長 19 年（1614）に作られ、現存する朝倉系図では最古のものとされています。

5, 室町時代の 1459 年に書かれたものです。内容は、称念寺に関する由緒・縁起が記されています。

6, 中世に、住持に宛てて書かれた後土御門天皇・後奈良天皇・霊元天皇の繪旨と勅書、4 通です。

7, 高さ 3.3m の石塔です。寛永 16 年（1639）に、福井藩土戸祭兵太夫宗久が願主となり作りました。



1, 絹本着色他阿上人真教像



2, 木造阿弥陀三尊立像



4, 朝倉系図



5, 紙本墨書称念寺縁起



3, 卷子本浄土三部経



6, 勅書・繪旨



7, 石造多層塔

※ P16、⑧にも解説あり

あかさか はくさんじんじやいたび
37 赤坂白山神社板碑

指定：市指定 歴史資料
 所在：丸岡町赤坂 白山神社

鎌倉時代後期の永仁2年(1294)に作られた自然石の板碑です。不動明王を表す梵字と紀年銘、願主名などが刻まれています。



とよはらさんぜんぼうしりょうかん していぶん かざい
38 豊原三千坊史料館の指定文化財

文化財名(指定)

とよはら じもくぞうやくし によらいざぞう
1, 豊原寺木造薬師如来坐像

(市指定 彫刻)

とよはら じもくぞうあみだ によらいざぞう
2, 豊原寺木造阿弥陀如来坐像

(市指定 彫刻)

所在：丸岡町田屋

1, 一木造り、桧材、像高 83.2cm ある、彫眼の像です。平安時代中期の、地方色が強い作です。像底の墨書より、江戸時代には豊原寺講堂の本尊であったことが分かります。

2, 一木割矧造り、桧材、増高 52.8cm ある、彫眼の像です。平安時代末期の作で、都の影響を色濃く受けた像です。また、像底には墨書銘がありますが、大部分が欠損しています。



1, 豊原寺木造薬師如来坐像



2, 豊原寺木造阿弥陀如来坐像

まるおかじょう していぶん かざい
39 丸岡城の指定文化財

文化財名(指定)

まるおかじょうてんしゅ
1, 丸岡城 天守 (国重要文化財 建造物)

うしがしませつかん
2, 牛ヶ島石棺 (市指定 考古資料)

所在：丸岡町霞町

1, 天正4年(1576)、柴田勝家の甥勝豊が標高約17mの孤立丘陵に築いた平山城です。二重三階望楼型独立式の木造天守で、高さ12.5m、現存する最古級の天守です。屋根には火山礫凝灰岩製の石瓦が葺かれています。

2, 丸岡町牛ヶ島の東方の御野山古墳(消滅)より出土したと伝えられる、古墳時代前期後半の火山礫凝灰岩の舟形石棺です。長さ2.1m、幅0.76m、その特徴より比較的古い時期の舟形石棺と言われ、現在は丸岡城西側登り口にあります。



1, 丸岡城天守



2, 牛ヶ島石棺

けんぼんちやくしよくはくさんさんけいまん だいらず
40 絹本着色白山参詣曼荼羅図

指定：県指定 絵画
 所在：丸岡町石城戸町 國神社

室町時代の作品で、平泉寺の景観、神像、白山各山頂の社殿・諸堂舎および、越前禅定道から山頂を目指す修行者が描かれています。



とよはら じぞうぼさつりゅうぞう
41 豊原地蔵菩薩立像

指定：市指定 彫刻
 所在：丸岡町豊原

一木造り、松材、像高210.0cmある像です。江戸時代の作で、袈裟や向背、台座に子どもの法名が書かれ、天保の大飢饉の死者供養のために作られたと伝えられています。



かみかな や はちまんじんじやせきぞう た そうとう
42 上金屋八幡神社石造多層塔

指定：市登録 建造物
 所在：丸岡町上金屋 八幡神社

笏谷石製の石塔の残欠で、基礎と塔身の一部が残っています。刻銘より、文永3年(1266)に建てられたことが分かっています。



つぼかわ けじゅうたく
43 坪川家住宅

指定：国重要文化財 建造物
 所在：丸岡町上竹田

江戸時代中期に作られた民家です。屋根に特徴がある福井県内最古の古民家で、近世の豪農の生活様式を知る上で貴重な建物です。



※ P18、42にも解説あり

②有形民俗・名勝・史跡



番号	文化財名(複数の場合は保管場所及び主な文化財名)	所在地	解説
①	丸岡藩砲台跡	三国町 梶	P15
②	東尋坊	三国町 宿～浜地	P15
③	瀧谷寺庭園	三国町 瀧谷 瀧谷寺	P15
④	性海寺(森田家墓所ほか)	三国町 南本町 性海寺	P16
⑤	西谷遺跡	三国町 西谷	P16
⑥	汗かき地藏	春江町 西長田	P16
⑦	黄楊の旧跡	春江町 寄安	P16
⑧	新田義貞公墓所	丸岡町 長崎 称念寺	P16
⑨	川上古墳	丸岡町 川上	P16
⑩	椀貸山古墳	丸岡町 坪江	P17
⑪	渡辺泉龍碑	丸岡町 女形谷 直乗院	P17
⑫	てんのう堂	丸岡町 女形谷	P17
⑬	実盛池	丸岡町 長畝	P17
⑭	本多家歴代墓所	丸岡町 巽町 本光院	P17
⑮	蓑笠庵梨一の墓	丸岡町 石城戸町 台雲寺	P17
⑯	有馬家歴代墓所	丸岡町 篠岡 高岳寺	P17
⑰	護城山八十八ヶ所霊場跡	丸岡町 田屋	P17
⑱	豊原寺跡	丸岡町 豊原	P18
⑲	瑩山禅師誕生地	丸岡町 山崎三ヶ 多禰神社	P18
⑳	錢瓶古墳	丸岡町 山崎三ヶ	P18
㉑	六呂瀬山古墳群	丸岡町 上久米田	P18
㉒	坪川氏庭園	丸岡町 上竹田	P18
㉓	吉谷寺跡	丸岡町 吉谷	P18



まるおかはんほうだいあと
① 丸岡藩砲台跡

指定：国指定 史跡

所在：三国町梶

江戸時代後期、諸藩は外国船来航に備え各地の沿岸に砲台を築きました。

丸岡藩砲台もペリー来航の1年前の嘉永5年(1852)に丸岡藩が諸外国からの海防のために三国町梶の沿岸部に築いた砲台です。砲台は、北方の海に向かい弓形をしており、東西約33m、胸墻高(敵の砲撃を避け、味方の射撃の便を測る部分)約1.8mあります。外面は土砂、内面及び側面は石垣で築かれ、5個の砲眼が開いています。

最も東側の台石には「嘉永壬子春二月随栗原氏出縄規築之 原貞熙・原常陸」「南常太郎・黒鋏長左衛門」という刻銘が刻まれており、設計者栗原氏であったとわかります。また、築造にあたったのは原貞熙、原常陸の両人で、梶浦の庄屋南常太郎が肝煎(世話人)となり、黒鋏(土工)は大野郡の長左衛門がそれぞれ担当したことがこの銘文よりわかります。



丸岡藩砲台跡全景



丸岡藩砲台跡胸墻

とうじんぼう
② 東尋坊

指定：国指定 名勝天然記念物

所在：三国町宿～浜地

三国町宿の九頭竜川河口(サンセットビーチ)から東尋坊、雄島、越前松島を経て、浜地の海水浴場手前の浜地橋周辺までの海岸線約8km、面積約31.4haの海食地形が指定範囲となっています。

東尋坊、雄島、越前松島の火山が今から約1300万年前にそれぞれ噴火。これらの火山活動で形成され、もともと地中にあったものが時間をかけて隆起と海食により地表面にあらわれたものです。

東尋坊付近は、4～6角柱状の柱状節理が高さ約70mにも達する断崖が形成されている一方、越前松島には観音洞窟や聖穴洞窟といった海食洞が形成されています。

デイサイトの東尋坊に見られる「柱状節理」は地質学上で非常に珍しく、東尋坊以外には韓国の金剛山、ヨーロッパのスカンジナビア半島のノルウェー西海岸などが知られています。



東尋坊遠景



越前松島

たきだんじていえん
③ 瀧谷寺庭園

指定：国指定 名勝

所在：三国町滝谷 瀧谷寺

瀧谷寺の本堂と観音堂の背後に位置する、総面積約1500㎡の座観式林泉庭園で、平地部が少ない造りになっています。建物の縁に沿って、広さ100㎡ほどの細長い園池がうがたれていますが、池が狭いため池中に中島は設けられていません。

本堂から見て、池の対岸は自然の岩盤を掘削したままの急の護岸や窪みになっています。建物側には全体に景石による護岸がみられ、変化に富んでいます。

縁側からの降り口は3ヶ所あり、それぞれ石橋や汀の礼拝石に飛石で連絡されています。飛石等の石は庭石などによく使われる、三国町安島の安山岩(安島石)が使われ、庭景の重要な構成要素となっています。

対岸の築山上にはスギやシイなどの巨樹が茂り、背景となっています。園地周辺のツツジ類の刈込と鮮苔類は、庭石組や飛石によく調和し美しい庭園景観を形成しています。



石橋・飛石



渡り廊下からの景色

④ ^{しょうかいじしよゆう} ^{していぶんかざい}
性海寺所有の指定文化財

文化財名（指定）

1. ^{もりたけぼしよ} 森田家墓所（市指定 史跡）
2. ^{たけうちとうえもん} ^{はか} ^{だつたんひょうりゆう}
竹内藤右衛門の墓と韃靼漂流
^{しゃくようひ}
者供養碑（市指定 史跡）

所在：三国町南本町

1, 中世以降三国を代表する豪商として栄えた森田家の墓所です。墓は全て五輪塔で、三カ所に分かれて安置されています。

2, 江戸時代前期の1644年に新保浦を出航し遭難。中国北東部に流れ着き、当地で殺された船頭竹内藤右衛門の墓と、船員の供養塔です。



1, 森田家墓所



2, 竹内藤右衛門の墓と韃靼漂流碑

⑤ ^{にしたにいせき}
西谷遺跡

指定：県指定 史跡

所在：三国町西谷

弥生時代後期～古墳時代前期の集落遺跡です。堅穴式住居跡8棟、掘立柱建物跡1棟が検出されました。現在は埋戻し保存されています。



⑥ ^{あせ} ^{じぞう}
汗かき地蔵

指定：市指定 有形民俗

所在：春江町西長田

えちぜん鉄道西長田駅前のお堂に安置されている、高さ約90cmの石製の地蔵で、室町時代の作と考えられています。不吉な事が起きる前に地蔵の表面が濡れ、汗をかいたようになると伝えられ、昭和23年の福井地震の際にも汗をかいたと言われています。災厄を予見し警鐘をならすという伝承をもち、地域のなかで、親しまれてきた地蔵で、坂井市内では唯一の有形民俗文化財です。



地蔵堂（覆屋）



汗かき地蔵

⑦ ^{つげ} ^{きゆうせき}
黄楊の旧跡

指定：市指定 史跡

所在：春江町寄安

親鸞聖人の黄楊伝説に由来する史跡です。江戸時代の本「二十四輩順拝図会」等でも紹介されています。



⑧ ^{にったよしきだこうぼしよ}
新田義貞公墓所

指定：県指定 史跡

所在：丸岡町長崎 称念寺

南北朝時代の1338年に藤島庄灯明寺躰（現福井市新田塚町）で戦死した南朝方の武将新田義貞の墓所です。現在建っている墓の五輪塔は江戸時代後期の1837年に福井藩十代藩主松平宗矩が新田義貞公500回忌の際に再建したものです。その際、旧墓石は五輪塔の下に埋納されたと言われており、五輪塔の周りには石柵が設けられています。



新田義貞公墓所



五輪塔

⑨ ^{かわかみこふん}
川上古墳

指定：市指定 史跡

所在：丸岡町川上

古墳時代後期の横穴式石室の石組みで、覆土はすでに流出しています。高さ約2mの石2つで長さ1.5m、幅1.3mの天井石を支えています。



⑩ わんかしやまこふん
椀貸山古墳

指定：県指定 史跡
所在：丸岡町坪江

丸岡町坪江からあわら市中川の丘陵地にかけて約 230 基の古墳からなる横山古墳群があり、当古墳は、その南端に位置します。出土遺物などから、6 世紀前半の古墳時代後期の前方後円墳と考えられており、全長は約 45m あります。埋葬施設は横穴式石室で、内部には九州地方に多くみられる石屋形が設けられています。また、古墳の周囲には、現在は埋め戻されているものの、馬蹄形の周壕がありました。



椀貸山古墳



椀貸山古墳出土埴輪

⑪ わたなべせんりゅうひ
渡辺泉龍碑

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町女形谷 直乗院

江戸時代に丸岡藩主本多成重の許可を得て、丸岡町東二ツ屋から山久保まで新江用水を開削した渡辺泉龍の功績を顕彰した碑です。



⑫ てんのう堂^{どう}

指定：市登録 史跡
所在：丸岡町女形谷

継体天皇（男大迹王）伝承地のひとつです。この地で大和から来た使者（大伴金村）と会見をしたという伝承があります。



⑬ さねもりいけ
実盛池

指定：市登録 史跡
所在：丸岡町長畝

源平合戦で名高い齊藤実盛に関する伝承地です。近くの集落内には実盛の木像を安置した、実盛堂があります。



⑭ ほんだけれきだいぼしよ
本多家歴代墓所

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町巽町 本光院

江戸時代初期の丸岡藩主本多家の墓所です。重次（初代の父）成重（初代）重能（2代）重昭（3代）の五輪塔墓碑があります。



⑮ さりゅうあんりいち はか
蓑笠庵梨一の墓

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町石城戸町 台雲寺

江戸時代に丸岡俳諧の基礎を作った蓑笠庵梨一の墓です。墓は明治時代に門弟が作り、生前の功績を伝えています。



⑯ ありま けれきだいぼしよ
有馬家歴代墓所

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町篠岡 高岳寺

江戸時代前期の 1695 年から幕末まで丸岡藩主であった有馬家の歴代墓所です。藩主とその妻の墓が 12 基あります。



⑰ ごじょうざんはちじゅうはちか しょうれいじょうあと
護城山八十八ヶ所霊場跡

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町田屋

江戸時代後期の 1835 年、丸岡藩士 福島長太夫義衛の母恵喜子が四国八十八ヶ所に模して作った霊場です。



とよはらじあと
⑱ 豊原寺跡

指定：市指定 史跡

所在：丸岡町豊原

奈良時代に泰澄大師によって開かれたと言われ、中世には勝山市の平泉寺と共に隆盛しましたが、1575年に織田信長に焼き払われました。



けいざんぜん じ たんじょうち
⑲ 瑩山禪師誕生地

指定：市登録 史跡

所在：丸岡町山崎三ヶ 多禰神社

鎌倉時代の曹洞宗の僧瑩山紹瑾の誕生地と伝えられています。瑩山は、下級武士や商人に禅宗の普及を行いました。



ぜにがめこふん
⑳ 銭瓶古墳

指定：市指定 史跡

所在：丸岡町山崎三ヶ

フクイカントリークラブゴルフ場内にある古墳です。古墳時代後期の横穴式石室の天井石と側壁が露出しています。



ろくろ せやま こふんぐん
㉑ 六呂瀬山古墳群

指定：国指定 史跡 所在：丸岡町上久米田

標高約 200m の六呂瀬山山頂、丘陵の尾根に築かれた、古墳時代前期～中期の前方後円墳 2 基、方墳 2 基からなる古墳群です。前方後円墳である一号墳は出土した埴輪などから 4 世紀後半～5 世紀初頭のものと考えられ、全長約 140m あります。また、三号墳は同じく出土した埴輪などから、5 世紀初頭のものと考えられ、全長約 90m あります。

両古墳ともに葺石が葺かれた、2 段築成の古墳で、一号墳は北陸地方最大級の前方後円墳です。

九頭竜川をはさみ対岸にある松岡古墳群を含め、福井平野における広域首長の墓と考えられています。



六呂瀬山 3 号墳
発掘調査



六呂瀬山古墳群出土埴輪



六呂瀬山古墳群遠景

つぼかわし いていん
㉒ 坪川氏庭園

指定：国登録 記念物

所在：丸岡町上竹田

屋敷東側の主庭園と屋敷西側の西庭園を中心とし、巨樹・屋敷林が良好な景観を保っています。また、谷奥より屋敷内に清流を引き込み、生活や庭園池泉用の水としています。



よしたに じ あと
㉓ 吉谷寺跡

指定：市指定 史跡

所在：丸岡町吉谷

中世に豊原千坊・小野千坊と共に「豊原三千坊」と称された吉谷千坊の跡です。現在は山中に仏堂と神社が残っています。



③天然記念物 (樹木)

① きべじんじや 紀倍神社のオニヒバ

指定：県指定 天然記念物
所在：春江町木部西方寺 紀倍神社

神社の社殿東側前方にあります。目通り約 3.43 m、樹高約 19.5 m、樹齢は 400 年以上と言われており、県内でもまれに見るヒノキ科の老樹です。



② なかのしやう 中庄のヤブツバキ

指定：市指定 天然記念物
所在：春江町中庄 神明神社

目通り約 1.3m、樹高約 5m、樹齢 400 年以上と言われていいます。嶺北地方で目通り 40cm 以上のスタジイはまれで、市内にあるヤブツバキの巨木です。



③ ももたけ 桃田家のシイ

指定：市指定 天然記念物
所在：春江町針原

桃田家の庭にある、樹高約 15.5m、樹齢 300 年以上のスタジイです。明治 6 年の農民一揆の槍跡が残り、太平洋戦争時には救荒植物となり、地域の歴史にも関わってきました。



④ ふじわしづか 藤鷲塚のフジ

指定：県指定 天然記念物
所在：春江町藤鷲塚

幹周り約 1.75m、県内のフジではまれにみる大木です。藤棚を整備し保護を行っており、毎年四月下旬～五月上旬頃に花をつけます。



⑤ おながたに 女形谷のサクラ

指定：県指定 天然記念物
所在：丸岡町女形谷

根回り約 9.5 m、樹高約 15.5 m、県内でも有数のエドヒガンの老樹で、三月下旬～四月上旬頃に薄桃色の花をつけます。



⑥ ^{かすみ} 霞のタブノキ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町霞町

目通り約 4.2m、樹高約 14m あり、樹齢は不明ながら丸岡城下の樹木景観の中心的な存在です。



⑦ ^{きょうとくじ} 教徳寺のヒイラギ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町寄永 教徳寺

教徳寺の中庭に生える、目通り約 1.9m、樹高約 10m、樹齢約 400 年と、県内のヒイラギの中では稀にみる大木です。秋には乳白色の小花をつけます。



⑧ ^{さきはらけ} 笹原家のラカンマキ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町上久米田

笹原家の裏庭にある雌木で、目通り約 1.7 m、樹高約 15 m あります。樹齢は不明ながら、個人宅に植栽されている樹木では、稀に見る大木で、樹形も美しく整っています。



⑨ ^{ひがしふたつや} 東二ツ屋のスダジイ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町東二ツ屋 白山神社

白山神社の神木です。目通り約 4.1m、樹高約 10m あり、市内でも樹齢・大きさ共に屈指の樹木です。



④無形民俗文化財



①なんぼや踊り唄



②海女唄



④三国節



⑥いざぎ



⑦越前打込み太鼓



定めず

9月

⑪ **竹田じよんころ** (市指定)
公開日…八月十五日
公開場所…竹田地区

竹田地区の盆踊りで、哀愁漂うひなびた節回しと、腰を低く落としながら身をくねらせて一斉に下がる仕草が特徴です。

⑨ **表見の米** (県指定)
公開日…九月十四日以降の最初の土曜
公開場所…北横地 布久漏神社

布久漏神社の神事で、初穂米を音頭に合わせ杵でつき、十郷用水の恵みと収穫の感謝、五穀豊穡を祈ります。

⑩ **日向神樂** (県指定)
公開日…九月第三土曜夜七時～・日曜昼二時～
公開場所…長畝八幡神社神楽殿

元禄八年(一六九五)延岡より国替えとなった有馬清純公が、随行した舞人に祭礼で奉納させた事に由来します。

② **海女唄** (市指定)
公開日…九月第三土曜
公開場所…米ヶ脇白山神社

少なくとも江戸時代より海女に歌い継がれてきた、テンポが極めて緩やかで古風な唄(踊り)です。

④ **三国節** (市指定)

三国に伝わる座敷唄です。冒頭と末尾を「やしゃでやのしゃで」と唄うため「やのしゃ」とも呼ばれます。

⑦ **越前打込み太鼓** (市指定)

春江町一円に伝わる伝統的な大太鼓で、二人一組になり、一人が短いバチ二本で拍子をとおり、もう一人が力強く打ち込みます。

祭りの主な公開日等

1月

⑥ ぐんぎん (市指定)
 公開日…一月十五日
 公開場所…新保春日神社

5月

⑤ 三國神社例大祭「三國祭」(県指定)
 公開日…五月十九(二十一日)
 公開場所…三國神社周辺

6月

③ 火の太鼓 (市指定)
 公開日…六月第三日曜
 公開場所…瀧谷寺

8月

① なんぼや踊り唄 (県指定)
 公開日…八月十四(十六日)
 公開場所…安島区

ゆるやかなテンポの古風な盆踊りです。海運従事者が多かった江戸時代の安島住民の様子を素朴に唄っています。

⑧ 舟寄踊 (県指定)
 公開日…八月十五日
 公開場所…舟寄区

北陸街道の宿場町舟寄の盆踊りで、起源は姉川の合戦に出陣する領主の武運長久を願い踊ったと伝えられています。



③ 火の太鼓

⑫ 雄島海女の素潜り漁と加工技術 (県指定)

陸の近くの磯で行われてきた貝や海藻などをとる技術と加工技術を指定し、保護を図っています。



⑤ 三国祭



⑩ 日向神楽



⑪ 竹田じよんこ



⑨ 表児の米



⑧ 舟寄踊

天然記念物（動物及び生息地）



天然記念物 ヒシクイ

オスは全長 90cm、メスは全長 75cm になるカモ科の渡り鳥で、冬に飛来します。水生植物のマコモやヒシ、稲の落ち穂や二番穂、草などを採食します。

(組頭五十夫氏提供)



天然記念物 マガン

全長約 70cm になるカモ科の渡り鳥で、冬に飛来します。イネの落ち穂や二番穂、草などを採食し、坂井平野の水田地帯で群れが見られます。

(組頭五十夫氏提供)



天然記念物 アラレガコ生息地

体長約 15cm に成長するカジカ科の魚類で、和名はカマキリと言います。九頭龍川のアラレガコは体長 20cm 以上の大型になるため、大野市花房（阪谷橋）～福井市舟橋（中角橋）までの生息地が指定され保護を図っています。



特別天然記念物 ニホンカモシカ

体長約 1～1.5m、ウシ科の哺乳類です。雌雄共に短い角を持っています。丸岡町竹田地区などで目撃されています。

坂井市の文化財－改訂 3 版－

平成 30 年 3 月 31 日

編集・発行：坂井市教育委員会 文化課

Tel : 0776-50-3164 Fax : 0776-68-1480

E-mail : bunka@city.fukui-sakai.lg.jp

